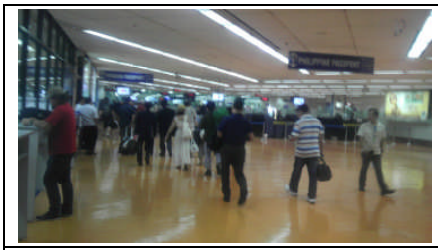
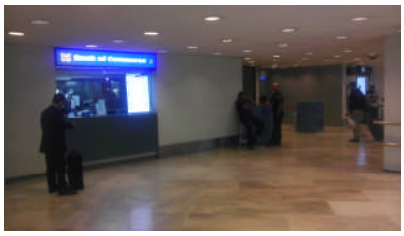
UP-GCEP (Aug.11 - Sept.7)実施の記録

「日本とは全く違う英語教育方法で、非常に新鮮でした！先生に恵まれた、と言うのが実感です。」と参加者の第１週目の言葉。そして、「２週目からは漸く、自分でも声が出るようになってきました。」「何より、同年代の現地の学生との交流が多く、頭で翻訳する事なしに自然に英語が口から出てくる様になったのには驚いています！」とうれしい感想が寄せられています。

安心の飛行場出迎え



入管（immigration）では 30 日迄は VISA が不要となりました（2013/8～）



荷物を受取って(Baggage claim)税関係員に書類を渡したら、当座のお金を交換

JAL741 でNAIA airportに到着。8/1 から滞在 30 日以内は VISA が不要になったと聞いていたものの、ちょっと心配。
入管では、何も聞かれず、あっさりと 30 日のスタンプを貰いました。

緑の中のキャンパス（宿泊～レストラン迄、構内で）

緑の中のキャンパス

150 万坪のキャンパスと聞いていたけど、実際行って見ると広さを実感！緑の中に大学がある、と言う感じ。ジョギング・レーンも有るよ。

UP の象徴：ケソンホールと銅像

授業は朝 9:00～17:00 迄、それでも永く感じさせない工夫が

英語はリズム！抑揚の無い棒読みでは全く通じません。強>弱、弱>強、強・強>弱、弱・弱>強、シェイクスピアもリズムでした。第 2 週に入り、漸く声が出るように。

Vocabulary building は situation に応じた様々な単語がある事を学びました。

Hearing and explaining　話を読んで、聞いて、自ら説明し、演じる。難しい

Vocabulary Building のゲーム

現地の学生達との交流が盛ん。同じ趣味やスポーツを通じ、自然に英語で考えるクセが身についてきます。

アニメ・マンガ同好会といつも一緒に

フィリピン流「ピース」！いつも陽気

授業が終わると教室の近くのクラブハウスに急ぎます。日本人1人に複数の現地の人が次々と質問を。2時間、立ちっ放しでした！共通の趣味で、話が通じた！次の週末には、皆でショッピングと買い物を約束！

インターンシップで、自分の英語がどこまで通じるか？英語で仕事をするとは？

マカティ市の中心にあるアヤラ・ミュージアムでのインターンシップ。

週末の小旅行で文化や歴史遺産に触れます。

マニラの近郊、有名なカルデラ湖のタール湖への小旅行。近くのレストランで休憩中に、霧が晴れました！

Tagaytay Highland C.C は難しそうなゴルフ場。ゴンドラで降りていきます。

クラブハウスで昼食とお茶の一時。

フィリピンの料理は日本人の口に合うものが沢山

フィリピンは米が主食、スペイン、中華、マレーが混じりあい、魚料理も多く有ります。デザートはココナツのナタデココやアイスクリームの入ったハロハロやケーキが美味しいでした！

マニラの南に広がる、広大な新都市計画。その一角に人口湖が作られており、Wake Board の競技会が開催されていました。初心者の練習コースもあり、次は是非チャレンジしてみたいと思いました。